

福祉

生活保護基準の引き下げへの対応について

佐藤 充議員(共産) ①平成25年8月から実施された生活保護基準の引き下げの内容は。

市長 ①平成27年度までに平均で6・5%、最大で10%の引き下げを行うとされており、本年度は8月から平均で2・2%程度の引き下げを行うとともに、

②生活保護受給世帯には7月発行の福祉だより生活保護制度の見直しのお知らせを同封して周知するとともに、受給者からの相談にはケースワーカーが丁寧な説明と対応を行っている。

山岸真知子議員(公明) ①小平市医師会との連携の現状は。

市長 ①認知症の早期発見・予防を図るため、物忘れ相談医を小平市医師会の協力を得て広報するなど、認知症の気づきの段階の相談窓口として、相談や専門医の受診を勧めている。

立花隆一議員(公明) ①コミュニティサロンへの見解は。

②コミュニティサロンを開設し、新しく開設されたコミュニティサロンの様子



する団体を支援できないか。市長 ①地域活動の担い手を育む場の一つとして期待され、元気高齢者等の地域の人の経験や能力を地域活動に積極的に引き出していくことなど、地域社会づくりに有効と認識している。

②市民活動支援公募事業等の支援事業や都等の補助制度等の情報提供での支援を考えている。

なお、今年度には市民活動支援公募事業を活用しコミュニティサロンを開設した団体がある。

認知症の早期発見・早期対応に向けて対策の充実を

市長 ①認知症の早期発見・予防を図るため、物忘れ相談医を小平市医師会の協力を得て広報するなど、認知症の気づきの段階の相談窓口として、相談や専門医の受診を勧めている。

②市内の認知症サポーターは平成25年6月30日現在、2千2百46人である。地域包括支援センターを中心に家族介護教室等の中で養成講座を開催してきたが、今後さらに各団体へ働きかけながら普及啓発に努めていく。

自宅でみとる体制の整備を進めるべきである

滝口幸一議員(フオ) 市は自宅でみとる体制の整備に資する施策を実施しているか。

市長 介護・医療連携推進事業の取り組みとして、在宅での医療や介護を確保するための関係機関相互の相談調整を行う在宅医療連携調整窓口を小平市医師

会に設置し、介護サービスと在宅医療での対応とが効果的に実施されるよう事業を推進している。また、末期がん患者の退院後のベッドは、介護保険制度の中で届け出により認定前から利用可能となり、ケアマネジャーに周知を図っている。

2015年度介護保険改定にどう立ち向かうか

木村まゆみ議員(共産) 要支援者への介護予防給付が介護保険制度から総合支援事業に移行するが、今後の市の方針は。

市長 社会保障制度改革国民会議の報告書では、要支援者に対する介護予防給付について、市町村が地域の実情に応じ、柔軟かつ効果的にサービス提供ができるよう新たな地域包括推進事業として段階的に移行させていくべきとしている。一方、具体的な内容は今後の社会保障審議会等で議論される予定のため詳細は把握できない状況である。市としては今後の議論を注視しながら適切に対応していく。

循環型社会の推進のため使用済み小型家電の回収を進めよ

虹川 浩議員(公明) ①循環型社会の推進のため市はどのような方向を目指すのか。

②回収ボックス方式での個人情報漏えい対策は検討されたか。

市長 ①小型家電製品に含まれ



未燃防止の視点で地域から化学物質を減らす取り組みを

岩本博子議員(生ネ) 保育園や児童館等の小さい子どもが利用する施設における化学物質を減らす工夫は。また、新設の施設では一定期間、定期的な化学物質の濃度調査と市民への周知が必要では。

市長 施設的设计では化学物質の放散量が少ない内部材料を選定し、工事の最終段階に行う化学物質の濃度測定で国が定める指針値以下であることを確認している。新設施設での定期的な調査は想定していないが、認可保育園の新設に当たっては化学物質の濃度測定を実施し、保護者に公表する予定である。

愛犬と豊かな時間を過ごすために

小林洋子議員(フオ) ①市内の犬の登録数は。

②犬鑑札と予防接種の注射済票の着用率は。また、犬鑑札のデザイン変更後の着用率は。

市長 ①平成24年度末現在で、8千3百54頭である。

②市では把握できていないが、平成23年度の都の調査では、飼育犬の犬鑑札の着用率は33・9%

犬鑑札のデザインを変更した犬鑑札

仮称)生活音トラブル条例について

村松まさみ議員(虹ひ) ①日常生活で生じる音に対する苦情の把握とその解決方法は。

②国分寺市の生活音トラブル防止条例の評価と認識は。

市長 ①深夜の話し声による騒音や洗濯機等による振動等の苦情があるが、行政による規制や指導でなく、相互の理解と協力による解決が最も重要と考える。

②生活音を出す人ではなく、それに対してたび重なる迷惑行為をした人に対し市が迷惑行為をしないよう要請したり、警察等に事実関係の連絡を行うなど紛争解決に向けた橋渡しをする目的の条例で、全国的にも大変珍しい条例と認識している。



あかしあ通りグリーンロード化基本計画の事業の進捗について

小野こういち議員(政和) ①あかしあ通りグリーンロード化基本計画の事業の進捗は。

市長 ①小平駅南口ロータリー植栽部の花壇化や自転車専用レ



小平都市計画道路3・4・23号線の整備と周辺の安全対策を

立花隆一議員(公明) ①完成までの全体のスケジュールは。

②玉川上水通りとの交差点及び十二小通りとの交差点の安全対策は。

市長 ①上水新町一丁目区間は平成26年度には玉川上水への架橋工事を完了し、その後道路築造工事を予定している。十二小に隣接する小川町一丁目区間は平成27年度までの計画で事業を進めている。

②交通管理者と協議し、玉川上水通りには信号機と横断歩道の設置、十二小通りは交差点を直角に改良し横断歩道を設置することにより歩行者等を中心とした安全対策を行う予定である。

小川駅の周辺環境と今後の変化などについて

細谷 正議員(共産) ①府中街道の整備状況は。

②中宿通りの東側は歩道と車道の境界線が不鮮明だが改善は。

市長 ①小川駅東口交差点付近から東村山市境の八坂交差点までの区間で、平成26年度までの予定で都による小平都市計画道路3・2・8号線の街路築造と鉄道高架整備が進んでいる。25年度は4車線化の工事と歩道部分の電線共同溝設置工事を行う予定と聞いている。



掲載分以外の質問項目

【医療・健康】
○重い医療費負担と小平の救急医療体制について
【都市整備】
○府中街道と西武拝島線立体交差付近の車線減少について